

● 現在の経営状況\*2

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	19.6 p	6.0 p ↗
不動産流通業(住宅地)	△ 5.7 p	△ 3.7 p ↘
ビル賃貸業	△ 2.0 p	7.3 p ↗

● 3ヶ月後経営状況見通し\*3

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	8.7 p	4.2 p ↗
不動産流通業(住宅地)	△ 2.8 p	6.2 p ↗
ビル賃貸業	△ 14.0 p	△ 4.7 p ↘

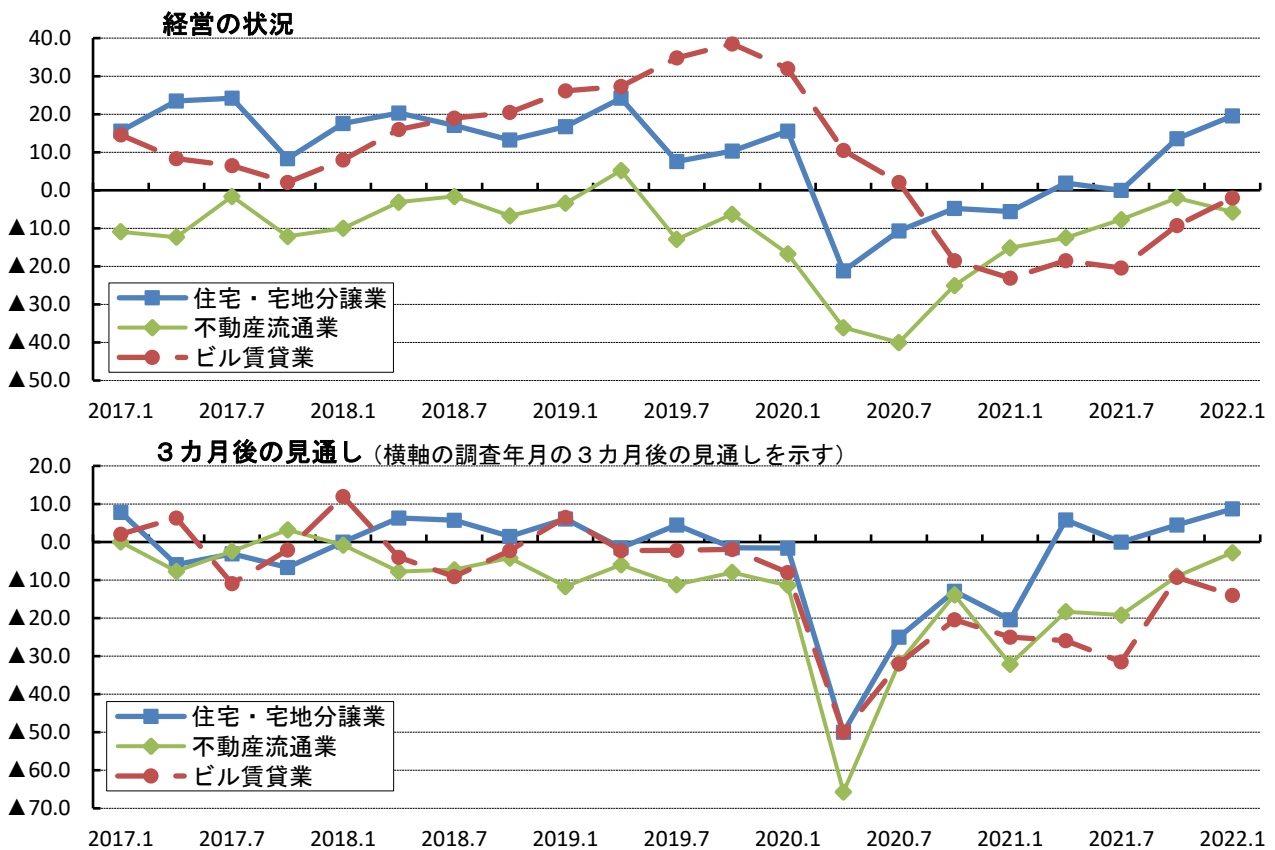
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から6.0p改善し19.6p。4期連続のプラス水準。  
 不動産流通業は前回から3.7p悪化し▲5.7p。11期連続のマイナス水準。  
 ビル賃貸業は前回から7.3p改善し▲2.0p。6期連続のマイナス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、不動産流通業で改善、ビル賃貸業で悪化。

\*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

\*2 経営の状況 = { (「良い」×2 + 「やや良い」) - (「悪い」×2 + 「やや悪い」) } ÷ 2 ÷ 回答数 × 100

\*3 3ヶ月後の見通し = { (「良くなる」×2 + 「やや良くなる」) - (「悪くなる」×2 + 「やや悪くなる」) } ÷ 2 ÷ 回答数 × 100  
 （調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果 \(pdf\) ダウンロード](#)

資料:一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第112号「不動産業業況等調査」